

電子俳句集

アトリエにて

絵と俳句 おじやうりか

2003



*
はじめに
*

はじめに

一年前、私に俳句を教えたださっている、『心太さん』とお会いしたときに、『句集を作りたいと思っている人が多い』という話になりました。

その時には、まさか、自分が俳句や本をこんなに作るようになるとは思っていなかったのだ、句集のことなど、頭のなかには、千らりとも浮かばなかったのですが、『電子本『自前出版』してみませんか？』の出版を機に、

はじめに

俳句バージョンのフォーマット
も作ってみようと思ったのです。

句集は、本などよりも、もつ
と短時間で作る事が可能です。

句集に適したフォーマットを
研究するために、自分の句集の
試作を開始しました。

私は、俳句はまだ、始めたば
かりで、俳句のしベル的には、
句集を出すような実力では無い
というのは解っているのですが、

はじめに

多くの句集を作りたい方の、参
考になればと思い、恥ずかしな
がら、この本の出版を決意した
のです。

自分で【電子句集】を作ると、
こんな感じになるという、サン
プルには最適かなと思います。

今までボキボキと作ってきた
俳句たちですが、小さな本にま
とまると、それなりの嬉しさが
沸いてきます。

私個人では、俳句というのは、
短い文字で瞬間を表現する芸術
だと考えており、俳句集は、文
字だけで構成されているべきだ
と考えています。

絵や写真のイメージが読者様
にも強く残ってしまい、文字か
ら湧き上がる創造力を妨げてし
まったり、句から湧いてくる力
が激減してしまうことになる
と感じているからです。

句集に絵や写真を入れるとい
うのは、邪道です。

俳句に絵や写真を使った場合、
句に力が無くても、映像で、そ
れなりに納得させてしまおうとい
う影響力も持つでしょう。

そういう文字以外の情報が、
俳句や、読者様にとって、いい
のかどうか、アタシには、ま
だ、よく解らないのです。

とはいいながらも、私の出版の最終目的は、私の絵を見ていただくということなので、やっぱり、千ヨコっただけ入れてみる事にしました。(ポケット版には、

サイズの関係で、画像は入れてません)

ファイルサイズの関係もあり、今回挿絵として使った作品は僅かですが、個人の作品集なので、すから、気軽に、イロイロなスタイルを試すという例としてご参考にして頂ければと思います。

はじめに

私の本の特徴は、画像を、
ご自宅のプリンタでプリントし
て、身近な場所に飾れるという
ところにあります。

この句集の場合、私の下手な
俳句も絵と一緒にプリントされ
てしまうのが難ですが、もしヨ
カツタら、私の絵を、身近な所
に、飾ってやってください。

それが、私の、人生の喜びで
もありません。

個人の本作りの楽しみという
のは、自分の思い出を、本とし
て残してゆくという作業だと
私は思っています。

俳句を詠む旅に出ても、写真
は撮るでしょうし、スケッチな
どをやる人もいるかもしれませ
ん。奥さんが描いた絵手紙に、
ご主人の俳句をつけて、一緒に
本にまとめてみるとか、そんな
楽しみも方もあると思うのです。

はじめに

絵や写真入りのオリジナル句集というのは、作者の思いが込められていて、作っているときは楽しいですし、本となれば、多くの方に見ていただくことが可能となります。

思いの詰まった【電子句集】作り、気軽にチャレンジしていただけると思います。
句集は一ページに一句載せるだけなので、あっという間に本が完成します。

*** 本の設計に**

当たって *

本の設計に当たって

この句集は、私が作った俳句集としては、「花の俳句集 心太 俳諧通信『花寄せ』」に続く、二冊目の句集です。

俳句のフォーマットとしても、まだ発展途上の部分もありますけれども、普通の方が、ゼロから自力で作りはじめよりは、短時間で、安価に「句集作成」という目標を達成できることは間違いないと思います。

本の設計に当たって

この俳句のフォーマットを作るにあたって、縦長にするか、横長にするかを、最後まで迷いましたが、ほとんどのパソコンが、横長画面で読むわけですから、画面に最適表示するように設計しました。

横長の画面では俳句が二行以上になってしまいましたが、見栄えがよければ、縦長の本より画面に最適化されている方が優先されると考えたからです。

また、俳句集は、文字数が少ないということもあり、ポケット版のPCでも閲覧できるように、サイズをA5としました。
その結果ファイルサイズ全体を小さく作る事ができました。

この本をきっかけに、多くの俳句愛好者の方が、電子句集に親しんで下さるといいなと思っています。

二〇〇三年 四月

絵と俳句 おじやらりか

*
アトリエにて
*

俳句は、アトリエで絵を描いている合間に浮かんできて、ノートに書きとめられることが多かったのだ。この句集のタイトルも、『アトリエにて』というタイトルにすることにしました。

バリ島滞在中に作ったほとんどの俳句は、ここで生まれました。

現在は、バリに来た当初よりも、恒常的に絵を描く事が多くなり、アトリエには山のように積まれています。掃除をしたり、絵を探したりすると、下の方から、俳句ノートが出てきては、また俳句のことを思い出しますので。

私の句作は、そんな感じで、バリの風のように、吹いては、時々止まったりして、のんびりとしたペースです。

毎日少しずつ描く

ぶらげんびりあ

空も少し見える

ちっちゃな

アトリエにある

窓を開ける
風が通る

一枚一枚が積み重なり
山のやふな夢

絵を描いてゐる
一人である

ふと手を休めて、
エンピツを持ってみる

指先がもう痛い
雨の昼下がりに

ヌードデッサンの

次の日となり、

裏に俳句

年末..

大掃除もせずに

絵を描いてゐる

コーヒーの

一滴がたれる

絵の一部となる

青色のインク壺に
水を入れてある

文字踊る コピー用紙

字を何度も
練習した紙の抽象画

インク

薄めながら使う 雨

絵の上で

蠅も休んでいる

雨
縫い子となり
土産のコースター

下塗り

もう虫が

貼りついてる

重ね塗り、

また絵を×にしている

画家である

白いカンバスばかり
並べてある

昔の絵を
白く塗りて
花

絵を燃やす、
土に帰ってゆく

燻ったままの

燃えかすで煙

帰国

帰りたくない

まだ描き足りない

* モデルと *

セニワテイ *

私は肖像画家を目指しており、
バリ島在住期間には、多くの女
性にモデルになって頂きました。
モデルとなって下さったのは、
私のホームページの読者様や、
村で出会った美女、バリの舞踏
を習う皆さんです。

モデルさんの宿に向っては、
絵を描かせて頂きます。皆さま
には、無料で協力していただき、
大変感謝しております。

また、週に一度、UBUD村で開かれているヌードデッサン会『セニワテイ』にも参加しました。

こちらには、世界中のアーティストが集まり、また、モデルさんもイロイロな国籍の方が協力してくださり、充実した時間となりました。

モデルとなって下さったみなさん、ホントウにありがとうございました。

着物を着て

座つてくれている

女が笑む

どんな女の絵にも、
人生が移り住む

花をくるくる回して
座っている

見つめると

目を開いてくれる

睫毛

ニスのモデルの 美しさ

ライトの位置を変えて
花を髪に挿してもらふ

扇風機下に集ふ
絵描きたち

隣の画家は 美しい絵を描く画家で

爆破テロ翌日

たった三人の画家の

前に立つモデル

20030320:

D-d a x x J'

サイン横に書き込んで

絵を仕上げる

グループ展の画集は、 バス停である

二〇〇二年八月に、セニワテイの女性アーティストグループによる初の個展が開催されたのだが、その名前は「THE BUS STOPS HERE」であった。

*
花
や
空
*

やっと咲いてくれた
バラを摘んでみる

三ツツバタ

喰らふ花びらは赤

乾季..

葉を折りたたんで

耐えている

葉を落ととして

待っている

明日はきっと

笑いてくれる

ヒマワリ

スつと汗が引く
木陰のありがたさよ

ふちがむらさきの
赤いバラであったよ

雷、
『ゴォ』と
連れ立って来る

しみじみと雨が降り
蠅も雨やどり

青い空と雲
蛇が出た

朝露 抱えるほどの
バラ摘む手袋

藻の樽家となりぬ

40mのホースよ

ブ
ロ
ツ
ク
堀
の
上

並
ん
だ

シ
ヤ
ボ
テ
ン
で
あ
る

アスファルトの上にも
熱帯の植物

月夜、
椰子の木のひそひそ話

シヨボイ

さつま揚げの膳、満月

長く描んだバラ

青い瓶と

決めてゐる

『ブチンッ』

『・!・ロンッ』

マンゴー落ちた

オしんぎの花

三つ咲いてくれた

気の向く方へ

ぶうげんびりあ

松葉ぼたん小さく

向日葵大きく

咲いている

赤いバラが枯れて
オしんじとなる青い瓶

ゴミ捨てに行き
赤い蟻に囲まれてゐる

花ばかり咲かせている

そこいら中が

オシンギで

ゆづべの

陽炎の羽ばかり

掃き出してゐる

水漏れの

青い睡蓮の鉢

水を足すばかり

また蟻が

引つ越してきた

土砂降りの午後

雲が椰子の木を
通り抜けた

花びらが一枚だけ

開いてくれた

日本の花

雨がドカンと降り
今日も晴れる

さわさわと

草のさわやか

巨大な葉に

囲まれている

蟻だつて探している

黄色コスモス

手の届かぬ位置に咲く

お日様を包みこむ

洗濯物の山

熱帯の太陽で増やす
ヨーグルト菌

こんなに降っている雨

雨の演奏会皿が足らず

ピカピカに洗われた
葉が光る

*
能
句
*

私が俳句を始めたのは、バリ島に来てからです。

心太俳諧通信というインターネットの俳句の掲示板 (<http://sasa.org>) には、日本（1999年よりも前）からも時々出入りはしていたのですが、俳句を意識して詠むようになったのは、バリに来て、さらに、もう少し何年か後になつてからだったと思います。

確か、2000年の四月頃に、私の銅版画の作品に、俳句を刷り込んでみたのですが、それが、非常にお粗末な句であったのを、みかねた心太さんが、特訓してくださることになったのでした。

私なりに、俳句に問題を感じていたのに、何が何だか、サッパリ解らずにいました。それでも、銅版画に、俳句を、どうしても入れたかったのです。

インターネットの掲示板
で、自由律俳句の添削指導をし
て頂いたのですが、当時の私に
は難しく、教えていただいたこ
とがゴチャリと頭のなかで混
ざったまま、また何ヶ月も中断
してしまっただけでした。

その間、山頭火、放哉と、自
由律俳句を習字の手本としな
がら読み進み、他人の作品では
ありましたが、WEB句集とし
てまとめられました。

放哉や山頭火の俳句を俳画にした一連の句集作りでは、私の俳句に対する理解が、一気に進み、謎が解けてきたと感じています。

また、心太俳諧通信では、『花寄せ』がスタートし、お粗末な句ながら参加させて頂きました。『花寄せ』は、一年間続き、その間に、俳句ノートも作り、私は、いくつもの俳句を作るようになっていったのです。

俳句の楽しさというのは、
イロイロあります。

誰でもが、気軽に始められる。
これがスゴイです。

初心者でも、中級者でも、上
級者でも、それぞれ楽しめると
いうのも素晴らしい所です。

自分が詠むだけでなく、人の
俳句に触れたり、批評したりす
ること、お友達も増えます。

人の句を読むことは、自分の句を反省する、いいチャンスにもなっています。

そうして、一番素晴らしいのは、句作には、ほとんどお金がかからないという部分かなと思います。

世の中にはイロイロな趣味がありますけれど、俳句は、立ち読みの次くらいに、お金がかからない趣味だと思っています。

ああ、中には、昔の俳人の高い本を集めたりして、『俳句は金がかかる』などと言っている方がいますけど、それは、収集活動であって句作活動ではありません。

俳句の事、ちよつと気になつている方。これを読んだ方の中には、アタシ程度の俳句なら、なんか、カンタンに作れそうな気がしていますよね。

私の作っている、自由律の俳句というのは、季語や文字数などの制限がないので、とても自由^びに俳句を作る事が可能です。スつと浮かんできた言葉を、紙に書き留めてみると、もう、それは俳句だったりします。俳句というからには、ちよつとしたコツがあるんですけど、細かい事は気にせず、気軽に作ってみる事から始めてみませんか？

鉢の子と

からたちの花

描けずにいる

インターネットで
つながる能句どうし

海と線で繋がっている
明石サーバー

ちつと見る。

これは能句なのか？

与謝野晶子の短歌
うた
漢字が読めずにゐる

俳句ノートが出てきた
また詠んでゐる

猫へ、能句ノート上

爪磨ぎ昼寝厳禁

ピカソも山頭火も
アタシも裸足

山頭火の裏に
放哉を描いてゐる

習字のお手本は
百年昔の能句たち

絵も句も

燃してばかりゐる

推敲、
朝もやの中

細かい事、
気にせず詠んでゐる朝

次々と湧いてくる

蟻どもと俳句

紙に印刷しない

『零とち』の

句集である

この能句に嘘

*
シンガポール
*

二〇〇一年、シンガポールに旅行。オーチャード通りのマンダリンホテルに宿泊。高層から都会の景色を眺めて、浮かんできた俳句を書き留めました。

書き留めた俳句の多くは、どこかに紛失してしまい、大捜査の上、やっといくつかの俳句を当時のスケッチブックの中からみつけることができました。折角なので、この句集に追加する事にします。

雲の隙間から

ちよつと

覗きに来た

叶わぬ夢

新しい夢になる

よき天気になりて
連なれる雲

夜になりゆくビル灯
ぽつりぽつり

二十八階で
ハムとワインと月

コンクリートの中
生かされる
緑ばかりである

教会にも、

モスクにも雨

*
おわりに
*

この句集を有料にするか、無料にするかというのは、最後まで悩みました。

何で悩んだのかといえば、本を【有料】にしないと、『図書館カード』を付加しても、『書籍データベース』に掲載することができない』という事実が、新たに判明したからです。

書籍データベースに掲載されない、折角『図書コード』をつけたのに、検索などで、外から流れてくる方に、この本の存在を知ってもらうことができないのです。

かといって、有料にするほどの俳句でもないしなあ……。

本を縦にするか、横にするかと同じくらい、アタシは悩まなくてはなりませんでした。

無料にすれば、大量に人が集まってきた、つい、「リンク」を押してしまい、ダウンロードしてしまうことは過去の実績から解っています。

まあ、電子本の宣伝には、沢山の方に触れてもらう方がいいかもなあ。ということ、無料で配布にすることに決定！

多くの俳句ファンの方が、句集を出すという夢を実現できませう、お祈り申し上げます。

このような俳句集が、あつと
いう間に作れる、『ワードの基本
フォーマット』は、『電子本 』自
前出版』してみませんか?』を
購入すると、おまけでついてき
ます。

無職無収入なんで、こっちは
買って欲しいです。これを使う
と、(ワードとアクロバットがあ
れば)俳句を入れて、改ページ
を挿入してゆくだけで、このよ
うな俳句集が作れてしまいます。

自分で作る、自分だけの、
思いのこもった『俳句集作り』、
ぜひ、チャレンジしてみてください。
さい。

WEBとは違って、本の形に
なると、また、別な嬉しさが湧
いてきます。ホントです。

それでは、読んでくださって、
ありがとうございました。

二〇〇三年 四月

絵と俳句 おじゃら りか

*
御
礼
*

私が俳句を続けてこられたのは、インターネットで、私に俳句を教えてくださいとつた、笹心太さんと、心太俳諧通信

(<http://sasa.org>) に集って、

俳句のお友達のお陰です。

趣味とはいえ、一人では、

俳句の謎が多すぎて、今まで、

続けてくることはできなかつた

と感じています。

私の俳句は、ボチボチと作っている程度で、なかなか上達も
しませんが、今では下手なりに
も、作る楽しさというのが沸い
てきます。

心太俳諧通信では、この他に、
連句や、句を投句して、参加者
が批評しあう『吹き寄せ』など、
俳句を使った、イロイロな遊び
方も教えて頂いています。

俳句のもう一つの素晴らしさは、一人でも作れるということころでしょう。無理せず、ボチボチと、自分のペースで作れるのです。

世の中にはイロイロな趣味がありますけれど、一人で時間が潰せる趣味というのは、結構少ないように思います。私が絵を始めたのも、一人きりで時間を過ごせるからという部分が強いです。

絵は、一人だけで完成させる
ことがほとんどですが、俳句の
場合、一人でも、大勢集っても、
楽しい時間を過ごせる、素晴ら
しい文化だと感じています。

このような楽しい俳句や、遊
び方を教えていただいて、また、
いつも、一緒に遊んでくださっ
て、笹さん、お友達のみなさん、
ありがとうございます。

感謝します。

俳句が楽しくなって、私も、もつと他の多くの方が、俳句に気軽に親しんでくださるといいと、心から思うようになりました。

この電子俳句集『アトリエにて』を読んだ方が、気軽に、『俳句を始めてみよう』と思ってくたさると、嬉しいです。

私も、俳句を始めたばかりですが、少しずつ、また、自分の俳句を作ろうと思っています。

おじやら・ねつこの本



電子俳句集『アトリエにて』

発行 二〇〇三年四月

絵と文 おじやら リカ

発行者 小山田 理花

発行所 有限会社 おじやら

〒一ニ〇-〇〇三三四

東京都足立区千住四-7-6

E-mail:rica@ojara.net

<http://www.ojara.net>

ISBN4-901941-11-9

C-0892¥0000E

CD-ROM プリン Pt.Birubintang



おじやら リカ

お近づきの個所がございましたら、ご面倒様でも、E-Mailにてお知らせください。
よろしくお願ひ致します。

おじやら、ねっとの他の本

バリ島★ぶうげんびりあ

絵と文

おじやら リカ

価格

PDF版

七百元

CD-ROM版

千五百円

朝焼けスツと朝になる 夕焼けそつと夜になる
心の中にバリが広がる100のエッセイと、イラスト。多くのバリ好きな方に読んで頂けたらと思います。

素描

絵と文

おじやら リカ

全八五ページ

価格

PDF版

五百円

CD-ROM版

千円

コピー用紙に、ボールペンで描いた女たちの画集。
オイルモノクロ。全画像、お手持ちのプリンタで
印刷して飾れます。

電子本 自前出版してみませんか？

パソコン(ワードやエクセル)で作る
カンタン・激安“e-Book”
図書館コードもつけて、本はあつとてい問題に完成
すよ。

編集 おじやらネット

CD-ROM版 1200円 ISBN
4-901941-10-0 3800円 1200円
PDF版 700円 ISBN
4-901941-09-7 3800円 700円



ISBN4-901941-11-9 C0892 ¥0000E